





クルマがお客様の人生を 豊かにする

株式会社SUBARU 代表取締役社長 中村 知美

はじめに

日頃より、SUBARUへのご理解とご支援を賜りまして、御礼申し上げます。

また、この度の台風15号、19号と、相次ぐ台風により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災された方々、並びに弊社お取引先の皆様の一日も早い復旧のため、引き続き最大限の支援を行ってまいります。

SUBARUブランド

クルマ業界は、100年に一度の大変革期を迎えています。昨今ではCASE、MaaSと言われるように、電動化、自動転をはじめ、コネクト、シェアリング、移動サービスなどといった、これまでのクルマ造りには無かった、新たな領域への対応が求められています。

こうした中にあってもSUBARUは、『安心と愉しさ』を普遍の提供価値とした、個性的で魅力ある商品を通じて、お客様の人生のパートナーであり続けたい。いつの時代においても、お客様に真摯に向き合い、お客様の笑顔をつくるブランドでありたい、と考えております。

先日、トヨタ自動車様との新たな業務資本提携を発

表させて頂きました。特にCASE、MaaSといった新たな領域への対応においては、トヨタ自動車様と共に歩を進め、社会的責任と発展を果たしていきたいと考えております。

一方で、自らの存在意義を示すべき領域においては、 これまで以上にSUBARUらしく、個性的で「走る 愉しさ」を追い求めた、もっといいクルマ造りを目指 してまいります。

お客様に人生を愉しんで頂く事。そのために、安心 して乗って頂けるSUBARUのクルマを提供する事 が、私たちの使命だと考えております。

新型レヴォーグ プロトタイプ

クルマに求められる社会的責任の中で、 SUBARUでは、特に先進安全技術の分野に力を注ぎ、約30年に渡り「アイサイト」を開発・進化させてきました。2030年には「人の命を守る」ことにこだわり、死亡交通事故ゼロを目指します。その手を緩めることはなく、あらたに「新世代アイサイト」を開発しており、10月23日の第46回東京モーターショーにおいて世界初公開いたしました「新型レヴォーグプロトタイプ」に搭載する予定です。



「新型レヴォーグ プロトタイプ」





第2世代となる「新型レヴォーグプロトタイプ」は、 今後モビリティ社会がどのように変化しようとも、だれもが自分の意志で、運転をどこまでも愉しめる未来 を実現することを目指して、現在開発を進めております。「スバルグローバルプラットフォーム」や「新開発 1.8リッター水平対向直噴ターボエンジン」、そして「新世代アイサイト」など、SUBARUらしい最新技術を惜しみなく投入いたします。

"乗る人の人生をもっと豊かにするパートナー"として、SUBARUが継承してきたツーリング思想を大幅に進化させまして、2020年後半の発売を予定しております。是非、楽しみにお待ちいただきたいと思います。

クルマ造りの信念

私たちSUBARUは、いつの時代も「人」のことを考え、本質を追求したクルマ造りを続けてまいりました。それは「クルマがお客様の人生を豊かにする」という強い信念があったからです。

そして、その想いを「~believe.~人生をより良く できるクルマは、きっと、ある。」という、あらたなコ ンセプトに表現しました。

SUBARUをパートナーとして信頼してくれるお客様のために、これからも、このクルマ造りの信念を 貫いてまいります。引き続き、これからの SUBARUにご期待ください。